

INTER BEE IGNITION × DCEXPO

INTER BEE IGNITION × DCEXPO

会 期：2024年11月13日（水）～15日（金）

会 場：幕張メッセ

Inter BEE主催：（一社）電子情報技術産業協会

Inter BEE運営：（一社）日本エレクトロニクスショー協会

INTER BEE IGNITION × DCEXPO共同運営：（一財）デジタルコンテンツ協会

対 象：XR（VR/AR）、CG、3D映像／音響、人工知能（AI）、メタバース、ブロックチェーン、超臨場感映像、プロジェクションマッピング、ドローン、ロボティクス、インタラクティブシステム、モーションシステム、メディアアート、その他先進映像表現技術、4K/8Kプロジェクタ、デジタルサイネージ、ライブエンターテインメントテクノロジー、空間演出、演出用特機、照明システム、ビックデータ、クラウド、IoT、その他表現・体験技術

公式サイト URL：<https://www.inter-bee.com/ja/forvisitors/conference/ignition/>

総来場者数（参加数）：33,853人（InterBEE 2024全体の実績値）

内 訳：（国内入場者数（参加数）：32,848人 海外入場者数（参加数）：1,005人）

出展社数：41社

内 訳：（国内出展社数：38社 海外出展社数：3社）

出展参加国と地域数：3つの国と地域



■開催内容

「INTER BEE IGNITION × DCEXPO」は、コンテンツ産業とエンターテインメント産業における新たなビジネス創出と活性化を目指す Inter BEE 内の特別企画。新たな市場を創出する最先端のコンテンツ技術を体験できる展示のほか、世界の第一線で活躍する専門家、研究者、クリエイターによるコンファレンスが行われた。「DCEXPO（デジタルコンテンツ・エキスポ）」は2008年から毎年開催され2024年で17回目の開催。質の高い技術を、大学や企業の研究室の中で留めることなくコンテンツと組み合わせ体験いただくことで、世界を変えるようなイノベーションを起こすきっかけの場を創っている。

■2024年度の新規取り組みとその成果・特色など

基調講演では、映画監督の山崎貴氏、世界的メディアアーティストの落合陽一氏、CGアーティストの河口洋一郎氏が、「メディア・アートとAIの未来」「特撮の魅力」についてトークセッションを行い、企画セッションでは、AI、メタバース、Web3、XR等をテーマに、コンテンツ技術やヴィジュアルテクノロジーの視点でこれからの社会とビジネスを考えるセッションや、Vライバーがスタートアップを紹介するセッション等を行った。計15のコンファレンスでオンラインアーカイブを含め4千人以上が聴講する盛況ぶりだった。

中でも、世界最大のCGとインタラクティブ技術の国際学会ACM SIGGRAPHよりMetaの研究者とNVIDIAのメンバーを招き、慶應義塾大学の南澤孝太教授とともに、Metaの最新研究成果や2025年の注目テクノロジーについて語るトークセッションや、「中東エリア」をテーマに大規模開発、エンタメ、スタートアップ関連イベント等の最新トピックスや今後の中東諸国の国家戦略を解説する講演は、大きな注目を集めた。

昨年好評だったスタートアップエリアに今年は大学からの出展も加わり、「スタートアップ&ユニバーシティ」として16のブースで展示が行われた。また、経済産業省がスタートアップの海外展開を支援する「TechBiz」による7ブースの展示でも活発に意見交換やマッチングを行う様子が見られた。「イノベーションネットワーク」では、出展者や来場者によるオープンマイクピッチや「ACM SIGGRAPH 賞」「NEDO 賞」などの表彰式が行われ、ここでも積極的な意見交換やネットワーキングが行われた。

■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数や成果

DCEXPOはACM SIGGRAPHと連携し、毎年優れた技術の表彰及び受賞技術の交換展示を行っており、今年は台湾のXRLab @ NTUT&GoldenSlashが開発した「Metapunch X」が展示されたほか、東京国際フォーラムで行われた「SIGGRAPH ASIA 2024 東京」でも注目コンテンツ技術の紹介やイベント告知を行った。

